

## 算数科におけるペア学習について

算数科においてペア学習を取り入れるということは、これまでの経験上子供たちの数学的思考力をつげさせるために効果的だと考えます。教育界の流行や、新しい指導法にも常に敏感でいることも大切ですが、必ずしも古いものは時代遅れになるとは限らないと思います。

あくまでも経験上ではありますが、算数科におけるペア学習について、ポイントをまとめてみたいと思います。

### 1 期待できる効果

- (1) 気軽に自分の考えを言うことができる。「できる」から「分かる」への橋渡しのツール。
- (2) 自分の考えを確かめ、自分の考えに自信を持つことができる。発表力へとつながる。
- (3) 自分の考えと違った考えに気付くことができる。同時に自分の間違いにも気付くことができる。
- (4) 授業の中で、自分の考えを表現することができる。主体的な活動につながる。

### 2 ペア学習のルール

- (1) 発言する順番を決めてから行う。(指定する場合とそうでない場合あり。)
- (2) 話し方の型を教え、それに従って行う。「～の計算の仕方について説明します」
- (3) 相手の考えを聞いたら、必ず感想を述べて返す。「分かりやすい説明でした」「○○の部分少し分かりませんでした」など。

### 3 ペア学習を行う場面

- (1) 導入場面で既習事項の問題解決において活用する。子供たちが「それは分かるよ」という問題で…自信をつけさせる効果が期待できる。
- (2) 展開場面の自力解決後、「解決方法の比較・検討」で活用する。自分の考えを確認したり、分からなくてもどこまで分かっているか、何が分からないかを自覚したりする効果が期待できる。
- (3) 終末場面でこの時間で分かったこと(分からなかったこと)や、感想を伝えることで、振り返りを行うことができる。そこで話したことをそのまま記入させることも可。

### 4 ペア学習を行う際の留意点

- (1) 明確な意図をもって行うこと。やればよいというものではない。また、グループ学習はペア学習の上位に当たるものではない。そもそもねらいが違う。
- (2) ノート指導と併せて行うとより効果的である。
- (3) ペア学習のルール等について、適宜評価すること。それを怠ると取組がいい加減になってくる。

高学年でペア学習を最初に取り入れた際、子供たちは、表面上は嫌がります。特に男女の組み合わせの際は顕著です。ましてや「隣同士で相談してごらん？」などと、ただ投げかけただけでは話が進みません。

ここではじめに「ルール」を取り入れることで、子供たちは仕方なくペア学習を行います。その時に「ルールに従って」自分の考えを述べている様子をほめると、徐々に抵抗が少なくなってきます。さらに繰り返していくと、「ルール上」の「分かりやすい説明でした」という感想ではなく、「そうきたかあ！」などという言葉が聞かれるようになります。そこまでくれば、あとは日常の授業風景となります。

それだけで、授業が変わります。